

寒気団襲来に伴って、暖気アイドリング中自動車泥棒を警戒しよう

ヨーク郡警察は毎年、冬になると全域でアイドリング中自動車泥棒の捜査に追われる。この週末には寒波襲来の天気予報が出ているが、この種の犯罪は機会を狙った犯罪であり、予防が可能であることを住民の皆さんは忘れないようにしていただきたい。

激しい寒気が押し寄せると、多くの人々が早朝、車を暖めようとする。この種の犯罪は毎冬起きており、郡警察は住民の皆さんが以下の予防対策をとられるよう、推奨する。

この種の自動車泥棒被害は、車を暖めるため無人の車のエンジンをかけ放しにした場合に起きる。

犯罪者は盗みの機会を狙っており、機会を見つければ、ただ車を持ち去るばかりである。

盗まれる車は、高級車から普及車の全てであり、特定の車に目がつけられることは無い。

連邦保険局(IBC)によれば、国内で毎年17万台の車が盗まれると推定される。またIBCによれば、自動車泥棒による保険金支払いによって、自動車保険会社及び被保険者は、毎年6億ドル以上の損失を受けており、換言すると保険契約当たり\$43のコストとなっている。

更に、自動車泥棒の被害は納税者にとって、法廷費用、警察や保健関係の支出などあわせて4億ドルの負担となっている。これらを全部あわせると、この種の犯罪による支出は10億ドルを超えるものである。更に、自動車泥棒が原因で毎年40人が死亡し、65人が重症を負っている。

郡警察自動車及び積荷回収課は、以下の予防処置を住民の皆さんにお勧めする。

- ・ 車には、キーなし遠隔スターターをつけよう。
- ・ たとえ短時間でも車を無人で、エンジン掛け放しにしないようにしよう。
- ・ 車を暖める場合、車内に留まるか、施錠し、スペアキーを持つようにしよう。
- ・ 家の中で鍵は、入り口脇や入り口近くのフックにかける等は避け、部外者が見つけにくいところに置こう。

郡警察はまた、暖気アイドリングが必要以上の排気ガスの排出につながることから、環境に悪影響を与えることに、皆さんの注意を促したい。

犯罪防止は皆さんと警察双方が持つべき責任であり、暖気アイドリング自動車泥棒は簡単に防ぐことが出来るものだ。

更に詳しい情報については、郡警察自動車及び積荷回収課(電話 1-866-876-5423, ext. 6698)または連邦保険局のウェブサイト www.ibc.ca を参照されたい。

JSS 説明

この種の警告は、ヨーク郡警察に限らず、トロント市警を始め各所の警察が頻繁に発しているものである。したがって被害が多く発生していることが想定できる。トロント市警の2007年の統計によると、自動車盗難の総数は市警管轄地域だけで年間訳8500台(暖気アイドリング時のものについての数字は発表されていない)となっている。

エンジンないしは車内を温めるための暖気運転は、特に寒気の厳しい折には多くの人々が行うことだ。ただ、無人の車でこれ

を行うことは、記事が示している通り、犯罪者を誘っているようなものといわれても弁解の余地がないことである。

被害者を非難する積もりは無いが、不注意の結果、税金が無駄遣いされ、保険金負担が大幅に増えていることは意識されてしかるべきである。直接の被害を避けるため、そして社会全体の無駄を省くための、記事にある注意事項を再認識しよう。